

令和3年6月 斐伊川水系水質情報

令和3年6月(宍道湖:8日・中海:1日採水)				単位:mg/l(Chl-a: µg/l)						
項目	層	S-3(宍道湖湖心)			N-6(中海湖心)			米子湾中央部		
COD	全層	5.0	△	平年並み	3.8	△	平年並み	4.9	△	平年並み
全窒素	上層	0.32	○	良好	0.31	○	良好	0.41	△	平年並み
全リン	上層	0.032	△	平年並み	0.032	△	平年並み	0.046	△	平年並み
Chl-a	上層	12	○	良好	5.4	△	平年並み	6.3	△	平年並み
塩化物イオン	上層	3,980	×	やや高い	11,100	△	平年並み	10,200	△	平年並み
	下層	3,990	×	やや高い	16,100	△	平年並み	14,400	×	やや高い
溶存酸素	上層	9.8		平年並み	9.3		平年並み	8.7		やや低い
	下層	9.3		平年並み	6.2		平年並み	6.5		平年並み

前月との比較		宍道湖湖心		中海湖心		米子湾中央部	
項目	層	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して	前月	前月と比較して
COD	全層	4.7	横ばい	3.2	上昇	4.0	やや上昇
全窒素	上層	0.40	やや下降	0.29	横ばい	0.32	横ばい
全リン	上層	0.044	横ばい	0.028	横ばい	0.036	横ばい

宍道湖の透明度は1.7mから2.0mとやや上昇し、良好。中海の透明度は3.0mから3.2mと横ばいで、良好を維持。米子湾の透明度は2.6mから2.2mとやや下降し、平年並みとなった。

【評価基準】

前年まで過去10年間(平成19年までは5年間とした)のデータについて統計処理を行い、それに基づき下記の表現とする。

1. 水質値について

平均値+標準偏差値の3倍	★	<非常に高い>
平均値+標準偏差値の2倍	☆	<かなり高い>
平均値+標準偏差値	×	<やや高い>
10年間平均値	△	<平年並み>
平均値-標準偏差値	○	<良好> ただし、環境基準値以下の場合<良好>とする。
平均値-標準偏差値の2倍	◎	<かなり良好> <やや低い> (塩化物イオン)
平均値-標準偏差値の3倍	◎	<かなり低い> (塩化物イオン)

2. 水質変化について

前月値±標準偏差値以上、以下の変化…… 上昇、下降

注) 平均値±標準偏差値 ……全体のおよそ68.2%

前月値±標準偏差値の1/2以上、以下の変化…やや上昇、やや下降、横ばい

平均値±標準偏差値の2倍…全体のおよそ95.5%

前月値±標準偏差値の1/2以内の変化…横ばい

平均値±標準偏差値の3倍…全体のおよそ99.7%